

企業概要ディスクロージャー ファクトブック(通巻23号)刊行にあたって

「ファクトブック」は企業の現状をわかりやすく皆様に開示することで、都民共済をより深くご理解いただくことを目的として毎年作成しています。

都民共済は、東京で助け合いの輪を広げるために昭和58年に創業し、今年3月11日で43年目を迎えました。「ファクトブック」は、創業20周年を機に記念誌のデータ編として纏めて以来、今回で通巻23号となりました。これまで生活を守る共済活動にご協力いただきました多くの方々に心より御礼申しあげます。

「人々があってはならない病気・不慮の事故や災害に遭遇し、最も不幸な状態に陥った時、共済金の給付を通じて、経済的に援助し、精神的に励ます」という事業目的のもとで、皆様の視点に立ち、今日まで共済制度の普及に努めてまいりました。おかげさまで多くの方々からご支持をいただき、現在の在籍加入件数は211万件(火災共済含む、令和7年3月末現在)となりました。

日本では新型コロナウイルス等の感染拡大後に需給バランスが崩れ、経済活動を再開していますが原材料費の上昇、円安、賃金上昇、異常気象などにより物価が高騰しています。都民共済は創業以来継続して、「手頃な掛金でより充実した保障」を提供し、公平・迅速・確実な給付活動を徹底し、「保障の永続責任」を果たしていく決意のもと、役職員スタッフ一丸となり日々の業務を大切に努めております。

都民共済は、「ファクトブック」の刊行により23年にわたり情報の公開を進めてまいりました。新聞等の広報媒体やインターネット環境を積極的に活用して、ご加入頂いている皆様、ご加入を検討されている都民の皆様に広くご覧いただいております。これからも多くの方々からご信頼を頂くために、その時々ニーズに対応した特徴ある普及拡大活動を目指すとともに、今後とも共済活動での実態(ファクト)を公開し、事業の透明性をあげていくことに努めてまいります。

都民共済を取り巻く世界の社会経済環境が目まぐるしく変わる中で、創業50周年に向けた中期経営方針を掲げ、安定した事業基盤の構築に向け、人材育成と事業継続計画を着実に推進してまいります。都民の皆様により一層のご信頼をいただけるよう、また、時代の変化に順応し続けるため、常に事業の点検を行っていきたいと考えています。関係者の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご愛顧を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。末筆になりましたが、皆様のご健康・ご多幸を祈念し、ご挨拶といたします。

令和7年5月22日

東京都民共済生活協同組合
代表理事 理事長 森本 正毅